

Safe Care for all

# ノーリフトケア®2025 国際シンポジウム 報告書

医療介護におけるテクノロジーの活用について考える

大会長：溝田弘美

<b>日時</b>	<b>[国際シンポジウム]</b> 2025年10月3日(金)13:30~17:00 2025年10月4日(土) 9:00~15:30	<b>[15周年記念式典]</b> 2025年10月3日(金)18:00~20:00
<b>会場</b>	<b>[国際シンポジウム]</b> 神戸国際会議場 神戸市中央区港島中町6丁目9-1	<b>[15周年記念式典]</b> 神戸ポートピアホテル 神戸市中央区港島中町6丁目10-1
<b>主催</b>	一般社団法人 日本ノーリフト協会 URL: <a href="http://www.nolift.jp">http://www.nolift.jp</a> E-Mail: noliftcare@gmail.com	
<b>後援</b>	厚生労働省、経済産業省、神戸市、在大阪オーストラリア総領事館、神戸商工会議所、 神戸市介護サービス協会、(公社)日本看護協会、(公社)日本理学療法士協会、 (一社)日本作業療法士協会、(公社)日本介護福祉士会、(公財)テクノエイド協会、 (一社)日本福祉用具・生活支援用具協会、(公社)関西シルバーサービス協会、ATCエイジレスセンター、 (一社)兵庫県社会福祉士会、(一社)兵庫県介護支援専門員協会、 (一社)ナチュラルハートフルケアネットワーク	
<b>特別協賛</b>	川崎重工業株式会社	
<b>協賛</b>	シーホネス株式会社、株式会社金星、神戸市 企画調整局 医療産業都市部 株式会社いうら、株式会社エレクトロスイスジャパン、ノーリツプレジジョン株式会社、マッスル株式会社、 アルケア株式会社、株式会社情報システムエンジニアリング、株式会社シリウス、株式会社CoreHealth、 株式会社ジェイテクト、株式会社ケアコネクトジャパン、ピジョンタヒラ株式会社、 公益財団法人 神戸国際医療交流財団 株式会社バイオシルバー	
<b>助成</b>	公益財団法人 中内力コンベンション振興財団、一般財団法人 神戸観光局・神戸コンベンションビューロー	



手術支援ロボット  
「hinotori™」(メディカロイド)

### 安全安心リモート社会

医療・ヘルスケア、災害対応、新しい働き方・暮らし方の提案

New Values



サービスロボット  
「FORRO (フォーロ)」

双腕自律走行ロボット  
「Nyokkey (ニョッキー)」

### 近未来モビリティ

新しいモビリティによる人とモノの移動を変える

# つぎの社会へ、 信頼のこたえを

Trustworthy Solutions  
for the Future

Frontier



無人VTOL機  
「K-RACER-X2」

### エネルギー・環境ソリューション

水素をはじめとする脱炭素化への取り組み



世界初の液化水素運搬船  
「すいそ ふろんていあ」(HySTRA)



国内最大の液化水素貯蔵タンク (神戸空港島)

川崎重工は、刻々と変わる社会に、  
革新的なソリューションをタイムリーに提供し、  
希望ある未来をつくっていきます。  
そして、さまざまな枠を超えてスピーディに行動・挑戦する  
自らの可能性を拓げ成長し続けていきます。

Cross Over

# 目次

1	開催御礼	2
2	祝辞	3
3	会場案内・会場の様子	
	シンポジウム：神戸国際会議場	10
	15周年記念式典：神戸ポートピアホテル	14
4	プログラム	
	10月3日（金）1日目	16
	・シンポジウム趣旨	17
	10月4日（土）2日目	18
5	分科会抄録	19
6	ポスター発表抄録	33
7	謝辞・広告	36
■	ノーリフトケア® コーディネーター 養成講座 次回開催予定一覧	巻末

## 【資料ダウンロードについて】

シンポジウム抄録冊子および配布用講演資料は、二次元バーコードよりダウンロード下さい。

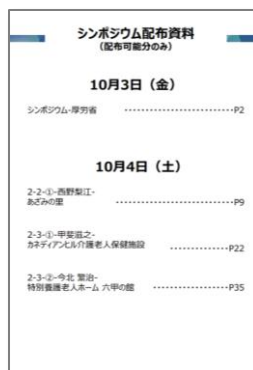
### 抄録冊子



抄録冊子  
二次元バーコード



### 配布用講演資料



配布用講演資料  
二次元バーコード



# 1 開催御礼

## ノーリフトケア®2025国際シンポジウム 大会長 お礼のことば

謹 啓

秋麗の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
このたびは、「Safe Care for All ノーリフトケア®2025国際シンポジウム」にご  
参加・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

二日間にわたる会期中は、日本・オーストラリア、シンガポール、デンマーク、カナ  
ダ、台湾、韓国より、10月3日 376名、10月4日 348名、延べ 724名と、国  
内外から多数のご参加をいただき、基調講演・シンポジウム・分科会・15周年祝  
賀会のいずれも大変充実した時間となりました。現場の知恵と研究の成果、そし  
て企業の先進技術が結びついた瞬間に、ケアの未来への確かな希望が生まれた  
ことを、会場全体で感じることができました。

本シンポジウムの開催にあたり、ご支援・ご後援を賜りました行政関係各位、ご  
協賛企業の皆さま、そして準備から当日運営に至るまで献身的にご尽力くださ  
った関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

また、全国各地の現場から足を運んでくださった参加者の皆さま一人ひとりの熱  
意と学びが、この大会を成功へと導いてくださいました。

「人力で抱えないケア＝ノーリフトケア®」が当たり前の社会となることは、私たち  
の願いであり、次の世代への約束です。今回の出会いと対話を原動力に、それぞ  
れの現場で新たな一步を踏み出していただければ幸いです。皆さまと共に創り上  
げたこのシンポジウムが、15周年という節目を超え、未来へと続く希望の礎となる  
ことを心から願い、厚く御礼申し上げます。

謹 白

2025年10月吉日

ノーリフトケア®2025国際シンポジウム  
大会長 溝田 弘美

## 財務大臣 加藤 勝信

保田代表理事、15周年誠におめでとうございます。また、この節目の年に国際シンポジウムが開催されましたこと、溝田大会長をはじめ関係者の皆さまに心より敬意を表します。

5年前の10周年の折には、厚生労働大臣としてご案内をいただきながら出席できませんでしたが、今回はそのお約束を果たすべく、ぜひにと思い伺いました。

我が国では2000年に介護保険制度がスタートし、「ノーリフト®」の考え方も1998年にオーストラリアで

生まれ、保田代表理事が日本に導入されました。その理念が15年を経てここまで広がり、根づいたことに、改めて深い敬意を表します。

これからの介護を支えるうえで重要なのは、人材、つまりマンパワーの確保です。医療・介護分野では約98万人、就業人口の一割以上が働いていますが、生産年齢人口の減少はすでに始まっています。海外の人材も活躍されていますが、それだけに頼ることはできません。限られた人員の中で、質の高いサービスをどう提供していくか。そこにICTや介護ロボットなど新しい技術の力を活かしていくことが欠かせません。

こうした技術の導入によって、介護現場での負担を軽減し、働く方々がより心の通ったケアに専念できる環境を整えることが大切です。

また、腰痛防止をはじめとする職場環境の改善も極めて重要であり、その原点が「ノーリフト®」にあります。さらに日本では「ノーリフトケア®」として、介護される方の快適性や自立支援にもつながる形で発展してきました。まさに皆さまがこの新しいムーブメントを創り出してこられたことに、心から敬意を表します。

そして今や、「ノーリフト®」からさらに広がる多様なテクノロジーの活用や国際的な交流が進み、日本から世界へと発信する時代に入っていると思います。その力が、この神戸に集結していることを大変心強く感じております。

15周年でこれだけの多くの方々が集まっておられます。20周年には、きっと倍以上の会場が必要になることでしょう。もしまたお招きいただけるなら、私もぜひ出席させていただきたいと思っております。どうか本日のこの素晴らしい懇親の場を通じて、皆さまの絆がさらに深まり、明日の国際シンポジウムが実り多い成果を上げられますことを心より祈念いたします。

本日は誠におめでとうございます。



#### 神戸市 副市長 今西 正男

日本ノーリフト協会の設立15周年、心よりお祝い申し上げます。保田代表理事をはじめ、協会の皆様の「人力で抱えないケア」の実現に向けた取り組みは、介護現場の負担軽減と尊厳を守る非常に重要な活動です。

神戸市も「介護テクノロジー導入促進プロジェクト」を通じて、皆様と共に新たな技術の開発・導入支援を進めています。川崎重工業株式会社とも連携し、介護現場の業務改善に向けた研究開発を行っており、今後もさらに協力を深めてまいります。

協会の皆様方には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



#### 川崎重工業株式会社 代表取締役社長執行役員 橋本 康彦



日本ノーリフト協会の15周年、心よりお祝い申し上げます。保田様との出会いから15年、介護分野でのロボット技術の可能性を感じつつも、当時は技術が追いついていませんでした。再会を経て、医療分野での経験を活かし、介護分野にも技術を提供する重要性を再認識しました。

今後も川崎重工は、日本ノーリフト協会や介護施設の皆様と共に、技術で支える立場として努力してまいります。協会のますますの発展を祈念し、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。本当に本日はおめでとうございます。

#### 福岡市 副市長 荒瀬 泰子

日本ノーリフト協会の15周年、心よりお祝い申し上げます。保田様と昨年お会いし、共感を覚えたことがきっかけで、今回参加させていただきました。

2017年から福岡市では「福岡100」プロジェクトを通じて、高齢化に対応するためのまちづくりに取り組んでおり、介護だけでなく予防の視点も重要だと感じています。引き続き皆様と共に進んでいきたいと考えています。

今日は本当におめでとうございます。



## 2 祝辞

### ご厚意・お心遣いのご紹介



## 2 祝辞

### 参議院議員 石田 昌宏

Safe Care for all ノーリフトケア 2025 国際シンポジウムが開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

参議院議員で看護師の石田昌宏です。

医療・介護現場における人力での抱え上げをなくし、誰もが安心して働き、ケアを受けられる社会の実現に向けた本シンポジウムの意義を大変強く感じております。

日本ノーリフト協会様の15年の歩みは、多くの看護職や介護職の安全と尊厳を守る取り組みの歴史であり、これからの理想のケアを描く大きな礎となるものです。

世界各国からの英知が結集する本会が、労働安全衛生マネジメントのさらなる進展に繋がり、現場で働く方々の負担軽減と利用者の安心につながることをご期待申し上げますとともに、貴会の益々のご発展とご参集の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

令和7年10月3日

参議院議員 看護師

石田 昌宏



### 衆議院議員 関 芳弘



自由民主党 衆議院議員

関 芳弘

このたび「ノーリフトケア十五周年記念式典」が開かれますことにお祝い申し上げます。関係者各位には、ご尽力を賜いました。心から敬意を表します。テクノロジーを駆使した安全な介護は、高齢者の生活の質を向上させる重要な役割を果たしています。配慮されたノーリフトケアは、介護現場において課題のある日本の介護分野において、将来的に持続可能な対策として期待されるものと考えます。結びに、協会の皆様のご活躍とシンポジウムの機会に多くの方にご参加いただき、アム対する理解が進むことを祈念し、挨拶とさせていただきます。

# 祝

参議院議員 末松 信介



参議院議員

自民党兵庫県連会長

末松 信介

しん

すけ



参議院自民党議員副会長

のご健勝ご多幸をご祈念いたしております。

貴協会の益々のご発展と、ご出席の皆様

となりますこととご期待申し上げます。

解を深めるきっかけとなる、実り多き一日

働安全衛生マネジメントについて改めて理

医療・介護現場における負担軽減や、労

表し感謝申し上げます。

ました溝田大会長はじめ関係各位に敬意を

シンポジウムの開催にあたりご尽力頂き

の盛会をお慶び申し上げます。

SAFE CARE FOR ALL  
ノーリフトケアニオニ五国際シンポジウム

参議院議員 加田 裕之

《お祝い》

(一社)日本ノーリフト協会15周年  
記念式典のご開催をお祝いし心から  
お慶び申し上げます

保田淳子代表理事始め医療や介護に  
於けるテクノロジーを活用し腰痛予  
防対策等の介護者の労働環境改善を  
図り介護者の未来を明るくするため  
ご尽力される皆様に敬意を表します  
と共に更なるご活躍と貴協会の今後  
益々のご発展をお祈り致します

参議院議員(兵庫県選挙区)

かた 裕之



## 2 祝辞

### 参議院議員 小川 克巳

『ノーリフトケア国際シンポジウム』のご盛会を、心よりお慶び申し上げます。

ノーリフトケアは、医療・介護現場における従事者の労働安全マネジメントや働き方に直結する、大変重要な課題です。

本日は一般社団法人 WISH ALS 代表理事 武藤将胤様の基調講演に加え、各国から最先端の知見が集まり、医療・介護におけるテクノロジーの活用について、活発な議論がなされることを期待しております。


結びに、本日ご参集の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和7年10月吉日



参議院議員 小川 克巳

### 兵庫県議会議員 奥谷 謙一



兵庫県議会議員・弁護士  
兵庫県議会自由民主党議員団筆頭副幹事長

奥谷 謙一

ノーリフトケア®2025国際シンポジウムのご盛会を  
心よりお慶び申し上げます

日本ノーリフト協会の設立15周年という佳節にあたり  
これまでのご尽力と成果に深甚なる敬意を表します  
本シンポジウムを契機としてノーリフトケアの理念がさらに広く浸透し  
安全で安心なケアの実現が一層推進されますようお願い申し上げます  
本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます

## 2 祝辞

兵庫県議会議員 大塚 公彦

ノーリフトケア2025国際シンポジウム  
大会長 溝田弘美 様

国際シンポジウムの盛会を心よりお慶び申し上げます  
長年にわたり医療・介護現場の安全で持続可能なケアの実現に尽力  
されてきた皆様のご努力に深く敬意を表します  
本シンポジウムが未来の福祉のさらなる発展につながりますことを  
心より祈念いたします  
今後も益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます

兵庫県議会議員（北区選出）大塚 公彦

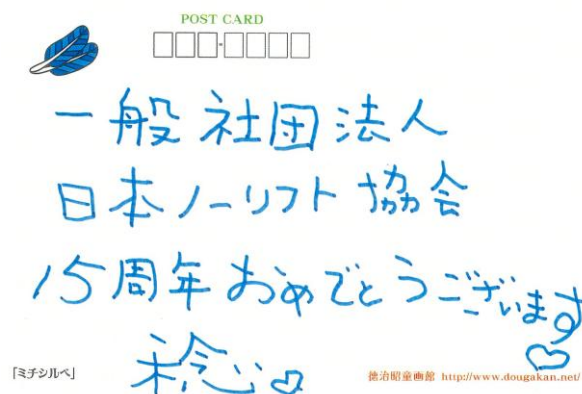


山本ヨガ研究所 所長 山本 正子

15周年記念を迎えられ心からお祝い申し上げます。  
貴協会のますますのご発展とご隆盛をお祈りいたします。



杉本 弘美・稔

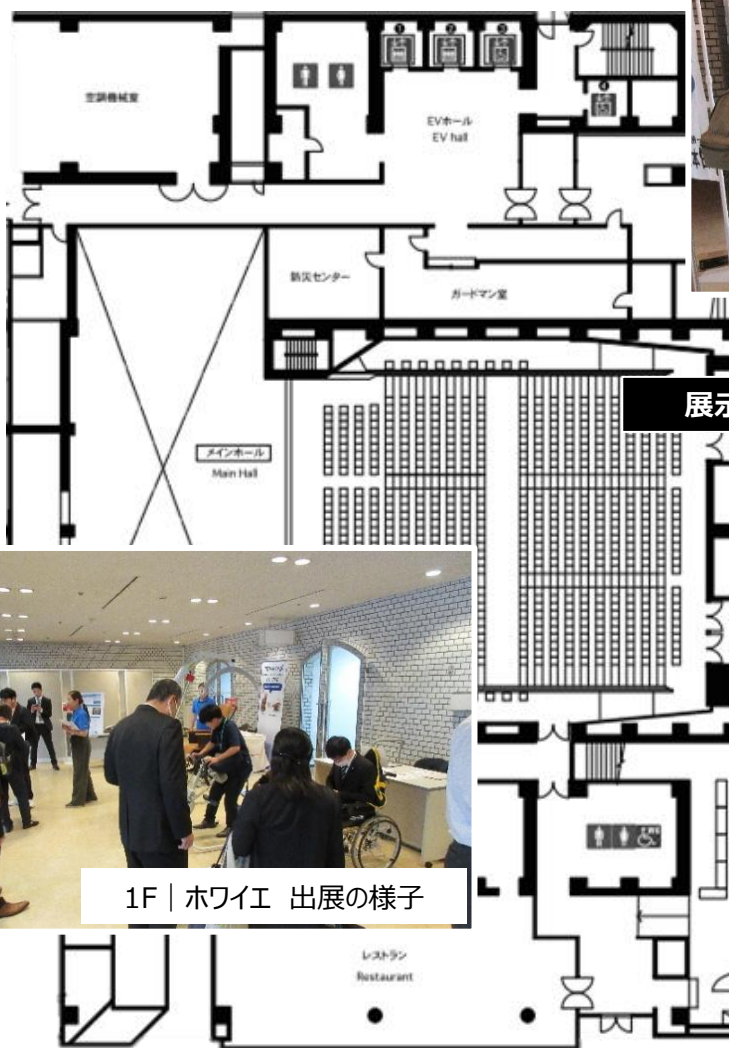


### 3 会場案内・会場の様子

国際シンポジウム  
神戸国際会議場

15周年記念式典  
神戸ポートピアホテル

#### 1階 受付・展示会場 (ホワイエ)



1F | ホワイエ ポスター展示



1F | ホワイエ 出展の様子

展示①: ホワイエ

受付

入口



神戸国際会議場入口

#### 【出展一覧①】

出展場所	出展
1F ホワイエ	川崎重工業株式会社
	シーホネンス株式会社
	株式会社金星
	神戸市 企画調整局 医療産業都市部
	株式会社いうら
	マッスル株式会社
	ピジョンタヒラ株式会社

## B1階 展示会場 (ロビー)、メインホール



メインホール | 講演の様子

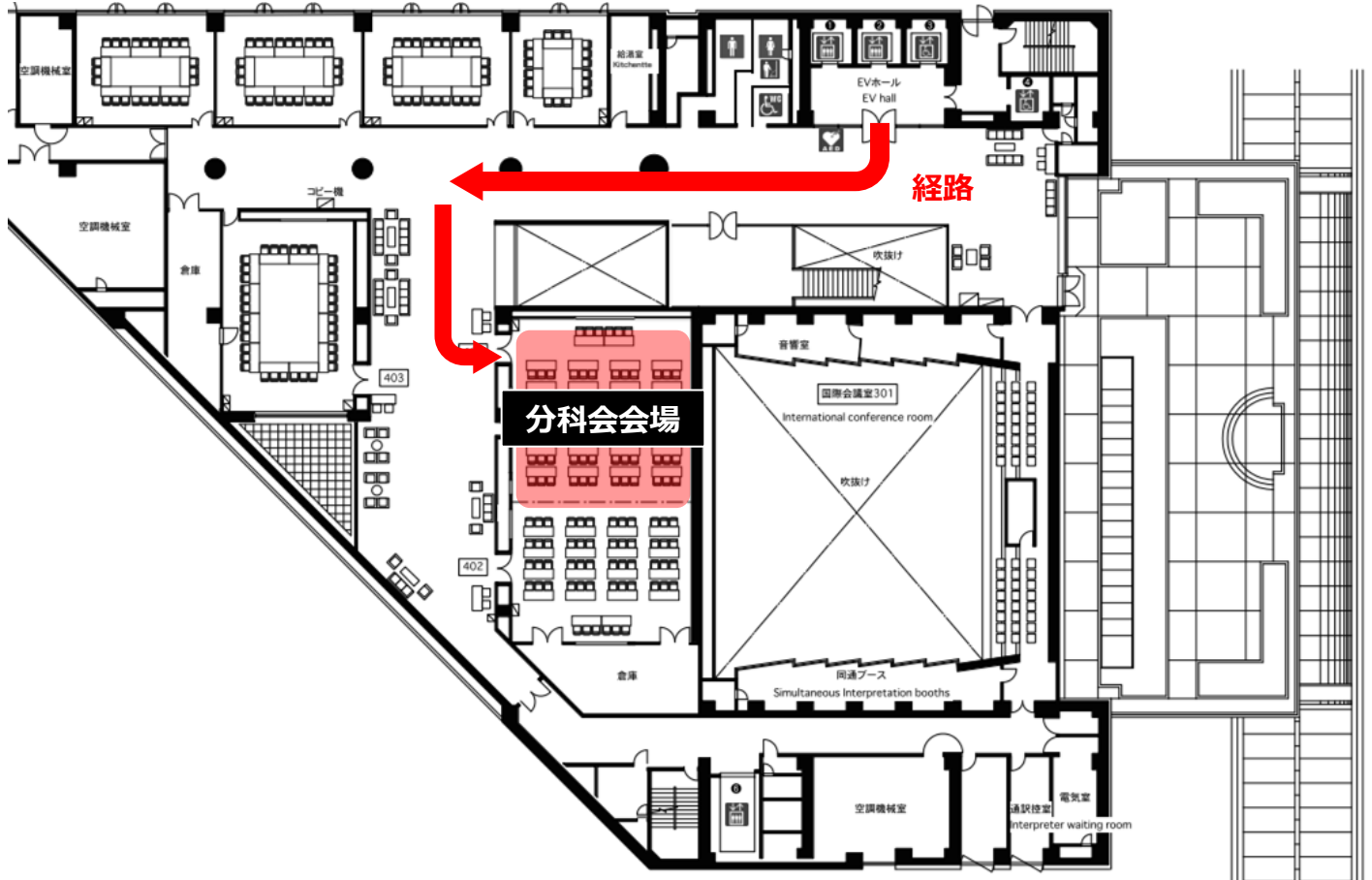


B1F | ロビー出展の様子

### 【出展一覧②】

出展場所	出展
B1F ロビー	株式会社情報システムエンジニアリング
	株式会社エレクトロスイスジャパン
	ノーリツプレジジョン株式会社
	アルケア株式会社
	株式会社シリウス
	株式会社CoreHealth
	株式会社ジェイテクト
	株式会社ケアコネクタジャパン
	公益財団法人 神戸国際医療交流財団
株式会社バイオシルバー	

## 4階 分科会会場



4F 401 | 講演の様子

## シンポジウム（メインホール）



10月3日 | 大会長挨拶



10月3日 | 基調講演



10月3日 | シンポジウム講演



10月3日 | 特別講演



10月4日 | 海外演者講演



10月4日 | ランチオンセミナー



10月4日 | 協会理事写真撮影



10月4日 | 協会理事・スタッフ写真撮影



## 15周年記念式典



財務大臣 加藤様 | ご祝辞



副市長 今西様 | ご挨拶



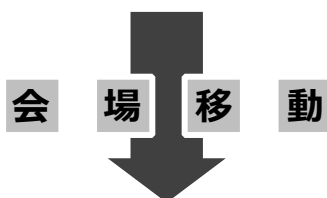
財務大臣 加藤様 | ご臨席 (協会理事写真撮影)



海外ゲスト | ご紹介 (協会理事写真撮影)

## 【プログラム】

時間	メインホール @国際会議場	同時通訳 日→英
13:30	<p><b>開会式</b> 溝田 弘美 大会長挨拶</p>	
13:45	<p><b>基調講演</b> 『コミュニケーションテクノロジーの力で、ALSの未来を明るく変える挑戦』 一般社団法人WITH ALS 代表理事 武藤 将胤 氏</p>	
14:30	休憩 & 会場設営	
14:40	<p><b>シンポジウム</b> 『医療・介護におけるテクノロジーの活用と腰痛予防対策』 厚生労働省 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長 大石 知広 氏 大会長 一般社団法人日本ノーリフト協会 理事/社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム 六甲の館 溝田 弘美 氏 司会 一般社団法人日本ノーリフト協会 特別顧問 埜田 和史</p>	
15:35	<p><b>特別講演</b> 『医療・介護に関わるすべての人をケアする社会の実現に向けて』 ～社長直轄プロジェクト立ち上げ、現在、そして未来へ～ 川崎重工業株式会社 代表取締役社長執行役員 橋本 康彦氏 一般社団法人日本ノーリフト協会 代表理事 保田 淳子</p>	
16:10	展示/ポスター見学	
17:00	終了	



時間	偕楽(本館B1F) @神戸ポートピアホテル
17:30	受付開始
18:00	<b>15周年記念式典</b>
20:00	1日目終了

## シンポジウム趣旨

## 基調講演

13:45 ~ 14:30

## 『コミュニケーションテクノロジーの力で、ALSの未来を明るく変える挑戦』

LA生まれ、東京育ち。

過去には(株)博報堂で様々なクライアントのコミュニケーション・マーケティングプラン立案や新規事業開発に従事。

2013年に難病ALSを発症し、2014年にその宣告を受けたことをきっかけに、2016年に一般社団法人WITH ALSを設立。現在は、クリエイティブの力を活用し、「ALSの課題解決を起点に、全ての人自分らしく挑戦できるBORDERLESSな社会を創造する」ことをミッションに活動中。エンターテインメント、テクノロジー、介護の3領域で課題解決に取り組み、2020東京パラリンピック開会式、CANNES LIONS、ARS ELECTRONICA、SXSWなど国際的なイベントにも出演。また、EYE VDJ MASAとして視線入力でオリジナル楽曲を制作している。



一般社団法人WITH ALS  
代表理事

**武藤 将胤**

## シンポジウム

14:40 ~ 15:30

## 医療・介護におけるテクノロジーの活用と腰痛予防対策

医療・介護におけるテクノロジーの活用と腰痛予防対策を中心とした労働安全衛生マネジメントについて学び、相互に有意義な時間を共有することを目的としている。

シンポジスト | 厚生労働省 / 経済産業省

大会長 | 溝田 弘美

司会・進行 | 埜田 和史

## 特別講演

15:35 ~ 16:10

『医療・介護に関わるすべての人をケアする社会の実現に向けて』  
～社長直轄プロジェクト立ち上げ、現在、そして未来へ～

1981年、川崎重工入社。

ロボット開発を担当し、半導体ロボット事業の立ち上げなどを担った。

2013年には国産初の手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」をはじめとする医療分野向けロボット開発会社「メディカロイド」を設立。コロナ禍ではロボット技術を活用した自動PCR検査サービス事業を推進。医療・介護の社会課題の解決を目指し、常にマーケットインの視点をもって挑戦を続けている。2020年6月より現職。



川崎重工業株式会社  
代表取締役社長執行役員

**橋本 康彦**

## 【プログラム】

時間	メインホール @国際会議場		401 @国際会議場	
9:15			意見交換会 『日本におけるノーリフトケア®マネジメント』	
10:00	休憩			
	1-1 同時通訳 英→日		2-1	
10:15	★ 1-1-①	『オーストラリアの高齢者介護現場における労働災害に対するCEOの視点』 Mark Zentgraf 氏 (オーストラリア) 20分(発表15分+質疑応答5分)	★ 2-1-①	『ノーリフト®制度運営3年目の成果と課題』 李 銀京 氏 (韓国) 20分(発表15分+質疑応答5分)
10:35	★ 1-1-②	『ノーリフト®患者に対応した看護ケアの再構築』 Tan Tzuu Ling 氏 (シンガポール) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-1-②	『～未来に向けて進もう～』 特別養護老人ホーム りんごの丘 庄司 五月 氏・小林 麗 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
10:55	★ 1-1-③	『台湾における在宅介護サービスと腰痛検出に関する研究』 陳 美珠 氏 (台湾) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-1-③	『(特養)若葉苑に於けるNLC普及啓発活動の10年の歩み』 社会福祉法人若山会 特別養護老人ホーム若葉苑 原田 慎二 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
11:15	休憩			
	1-2 同時通訳 日→英/英→日		2-2	
12:00	★ 1-2-①	『ヘルスケアにおけるロボット技術の活用』 Jocelyn Loh 氏 (シンガポール) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-2-①	『ICTやノーリフティングを運用した介護負担軽減への効果～高齢者虐待や身体拘束の未然防止のいま～』 社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会 特別養護老人ホームあざみの里 西野 梨江 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
12:20	1-2-②	『利用者が望む介護の実現に向けて』 社会福祉法人大翔会、川崎重工株式会社 40分	2-2-②	『心身の安寧を意識した取り組み～「生かされている」から「生きている」へ～』 医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム 堀田 万由美 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
12:40			★ 2-2-③	『台湾におけるノーリフトケア®の挑戦：ゼロからの組織化と現場改革への道』 蔡 俊明 氏 (台湾) 20分(発表15分+質疑応答5分)
13:00	休憩			
	1-3 同時通訳 英→日		2-3	
13:15	★ 1-3-①	『ノーリフトケア®普及における現状と課題』 李 相九氏・李 旻奎氏 (韓国) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-3-①	『ノーリフトケア® 導入5年目の課題』 医療法人社団創生会 カネディアンヒル介護老人保健施設 甲斐 慈之 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
13:35	★ 1-3-②	『カナダの概要：腰痛とノーリフト®の取り組み』 James Mayer 氏 (カナダ) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-3-②	『トイレでの天井走行リフトの自立支援効果』 特別養護老人ホーム 六甲の館 今北 繁治 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
13:55	★ 1-3-③	『オーストラリアにおけるノーリフト®トレーニング - リスクは最小限に、ケアは最大限に -』 Liam Collins 氏・Scott Foster 氏 (オーストラリア) 20分(発表15分+質疑応答5分)	2-3-③	『横展開で現場変革！～成功体験とその波及効果～』 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 岩品 佳代子 氏 20分(発表15分+質疑応答5分)
	1-4 同時通訳 日→英			
14:15	1-4-①	『NLA介テック設計ガイドライン策定委員会からの実施報告』 議長 黒田 聡 氏	★: 海外演者	
14:45	1-4-②	『協会活動のこれから』 一般社団法人 日本ノーリフト協会 理事		
15:15	閉会式 大会長挨拶			
15:30	2日目終了			

ランチ  
コン  
タ  
イ  
ム

1-1-①

10:15 ~ 10:35

演題(日本語)	オーストラリアの高齢者介護現場における労働災害に対するCEOの視点
発表内容	<p>このプレゼンテーションでは、オーストラリアの高齢者介護分野における職場での負傷について、特に財務的および組織的な影響に焦点を当て、最高経営責任者(CEO)の視点から考察します。まずオーストラリアの高齢者介護分野における労働安全衛生を規定する関連法制度について、簡単に説明します。提示された全国レベルの負傷データからは、当該分野および類似業界における明らかな傾向をご覧ください。</p> <p>さらに、TAPESTRYグループに属する6つの組織から提供された実際のデータを共有します。これらの組織はすべて、ビクトリア州の労災補償保険会社であるGallagher Bassettを通じて保険に加入しています。負傷データは2021年から2025年までの期間を対象としています。</p> <p>本事例研究では腰部の負傷を取り上げ、職場における負傷に伴う直接的および間接的なコストについて検証し、労災補償保険料に及ぼす長期的な影響についてお伝えします。</p> <p>そして、職場での負傷を減少させるために各組織が採用している、積極的な職員の関与や予防施策に関する戦略を考察します。最後に、負傷管理が不十分であることによる広範な影響についてお話しします。これには、組織の業績への影響のみならず経営層の説明責任に関わる側面も含まれます。</p>
代表者/所属	Mark Zentgraf / Emmerton Park

1-1-②

10:35 ~ 10:55

演題(日本語)	ノーリフト®患者に対応した看護ケアの再構築
発表内容	<p>シンガポールの多くの中期・長期介護施設(ILTC)と同様に、Ren Ci病院では要介護度が高く、身体的自立が困難な患者の受け入れが増加しており、看護職員に対して大きな身体的負担が生じている。従来の持ち上げ介助は職員の負傷や欠勤、さらには患者の安全性低下を招く要因となっている。</p> <p>こうした課題に対応するため、Ren Ci病院では「ノーリフト®」方針に基づいたケアの再設計に取り組んでおり、テクノロジーの活用、安全な介助方法の導入、人材育成を統合的に推進している。主な革新技术としては床走行リフト、自動寝返り支援ベッド、高さ調整可能なベッドや椅子、体位変換補助具の導入が挙げられる。リフトは最小限の身体的負担で安全な移乗を可能にし、定期的な体位変換を支援するベッドは褥瘡の予防に寄与し、身体的負担の大きい作業に対する職員への依存を軽減する。これらの技術は患者の安全性と快適性を高めるとともに、職員の負傷リスクの低減にも貢献する。</p> <p>これと並行して、本モデルの成功には職員研修が不可欠である。研修では安全なマニュアルハンドリング技術、補助機器の正確かつ一貫した使用方法、ケア時における腰サポーターの着用といった予防的措置に重点を置いている。また、定期的な技能評価および再研修を通じて職員の自信を高め、安全文化の定着を図っている。</p> <p>Ren Ci病院における再設計されたケアモデルは、次の3つの目的を掲げている:(1)職員の健康と安全の保護(2)患者の安全性と尊厳の向上(3)持続可能なケア提供体制の推進</p> <p>技術革新と包括的な職員研修を統合することにより、Ren Ci病院はILTC分野における看護実践の変革を主導し、要介護患者に対してより安全で質の高いケアの提供を目指している。</p>
代表者/所属	Tan Tzuu Ling / Ren Ci Hospital

1-1-③

10:55 ~ 11:15

<p>演題(日本語)</p>	<p>台湾における在宅介護サービスと腰痛検出に関する研究</p>
<p>発表内容</p>	<p>世界ノーリフティング大会の文脈において、台湾は超高齢化と少子化が交錯して引き起こす人手不足の危機に直面しており、特に介護・医療分野の人材不足は最も深刻です。大学の高齢福祉サービス学科の副教授として、介護の質と人材育成の重要性を深く理解し、その責務を強く感じています。長年にわたりフルクト社と協力し、高知県の下元佳子先生の視察行程に参加する機会を得て、ノーリフティングの実践と組織化モデルを間近で観察しました。私は痛感しました—技術導入だけを重視し、制度や組織の支援を軽視すれば、ノーリフティングは持続的な定着や普及が困難になるということ。</p> <p>帰国後は、産業パートナーであるフルクト社と共に複数回のノーリフティング・フォーラムを開催し、分野を超えた共通認識の形成を進めました。同時に実務機関と連携し、アンケート調査やデータ分析を通じて介護職員の筋骨格系疼痛や業務負荷の原因を特定し、それに基づく介入策を設計。職業性傷害の低減と介護の質向上を目指しました。さらに、ノーリフティングの理念を教育現場に先行導入し、学生段階から自分の身体を守る正しい介護方法を身に付けさせ、負傷による離職を予防し、職業人生のレジリエンスを高めています。</p> <p>構造的な人材課題に対して、私たちは技術・制度・教育の三本柱で取り組んでいます。実証に基づく導入、プロセス再設計、組織ガバナンスによってノーリフティングの持続可能性を確保し、学校教育と臨床の協働学習によって次世代の専門人材を育成します。この道筋は現場ニーズに応えるだけでなく、介護人材の持続的発展の基盤を築き、人を中心に据えたノーリフティングを真に根付かせるものです。</p>
<p>代表者/所属</p>	<p>陳 美珠 / 南臺科技大學 高齢福祉服務系</p>

1-2-①

12:00 ~ 12:20

演題(日本語)	ヘルスケアにおけるロボット技術の活用
発表内容	<p>高齢化が進む社会において、医療提供者が直面するヘルスケアの需要は急速に増加しています。これに加えて、医療従事者の人材不足という課題も深刻化しています。こうした困難な状況にもかかわらず、質の高いケアを継続的に提供することは極めて重要です。</p> <p>本プレゼンテーションでは、ロボット技術やテクノロジーが医療従事者と協力しながら、患者とスタッフ双方の健康と福祉(ウェルビーイング)を支える方法について考察します。</p>
代表者/所属	Jocelyn Loh / CHART

1-2-②

12:20 ~ 13:00

演題(日本語)	利用者が望む介護の実現に向けて
発表内容	<p>1. 大翔会のビジョン 介護機器導入による生産性向上は、介護現場の人材不足の解決策として挙げられている。一方で多くの施設において、介護機器導入による定量的な効果が分からず機器導入、定着、活用が進まないといった課題がある。大翔会では、職員の労働環境改善や職員一人一人の生産性を向上させることで、利用者への介護の質を担保し、豊かで尊厳ある暮らしを提供できると考えている。そのためにノーリフトケア<sup>®</sup>や介護テクノロジーを取り入れ、職員が安心して働き生産性を向上できる環境の提供と、利用者が高い質のケアを受けることの両立を進めている。</p> <p>2. 大翔会・川崎重工業の取り組み 大翔会では川崎重工業の“行動計測”により得られた科学的データを基にインカムによるコミュニケーション、音声による介護記録、スマートフォンによる確認・記録などの生産性向上施策の導入効果を検証した。日中の事務作業時間割合は平均1%（他施設約10%）と非常に低い結果となり、機器導入による事務作業時間低減効果を定量的に把握、機器導入後の改善効果・費用対効果を可視化することができた。なお、“行動計測”とは、位置情報サービスを活用した、利用者、職員、介護機器の行動を把握し、滞在時間や活動内容を分析するための基となる計測である。 大翔会のように、機器導入の成功事例を横展開するためには、介護テクノロジー企業やコンサルタント、介護施設が連携し、現場の課題調査から介護テクノロジーの導入・活用・定着までの一連のサイクルに対し、運用支援・教育体制・効果測定・現場との連携強化など、包括した伴走支援が重要と考えられる。川崎重工業では、これまで130の介護施設に対してコンサルティングを実施し、施設の課題抽出、機器の選定、導入後の伴走支援までの経験と実績を持つ日本ノーリフト協会と協働して、行動計測の結果を活用し、施設・コンサル事業者の作業量を削減しながら、より短時間で多くの介護施設に横展開できるよう取り組んでいる。</p> <p>3. 日本の介護業界が抱える課題と対策、未来の姿について 大翔会では、上述のように機器導入・活用が進み、職員が負担なく安心して働けることで、利用者は高い質のケアを受けられ、職員・利用者双方の満足度は非常に高くなっている。大翔会を成功事例とし、日本の介護業界が抱える課題の対策として議論したい。</p>
代表者/所属	<p>渡邊 利章 / 社会福祉法人 大翔会 市川 和宏 / 川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部 ヘルスケア事業推進部</p>

1-3-①

13:15 ~ 13:35

演題(日本語)	ノーリフトケア®普及における現状と課題
発表内容	<p>韓国では2008年に老人長期療養保険制度が始まり、超高齢社会に突入した現在も「お世話型介護」が主流で、自立支援やノーリフトケア®の導入は限定的である。</p> <p>特に介護人材の高齢化や待遇の低さにより、現場では人手不足が深刻である。政府は筋骨格系疾患の予防に向けた啓発を進めているが、介護機器の導入支援は不十分である。</p> <p>課題として、①低水準の給付金と制度設計の不備、②療養保護士の高齢化と教育体制の未整備、③福祉用具市場の制度的未成熟が挙げられる。ただし最近では、施設評価基準にノーリフトケア®が加わり、ロボット導入や教育義務化など前向きな変化もある。今後は、政府による装備購入の財政支援と、介護職への福祉用具教育の充実が不可欠である。</p>
代表者/所属	李 相九・李 炅奎 / 韓国介護協会

1-3-②

13:35 ~ 13:55

演題(日本語)	カナダの概要: 腰痛とノーリフト®の取り組み
発表内容	<p>CABHI(高齢者+脳の健康イノベーションセンター)は、高齢者や脳の健康状態に課題を抱える人々の生活を向上させるために、ソリューションの開発・検証・導入を加速させています。</p> <p>カナダでは筋骨格系疾患(MSK)、特に腰痛が障害や労働損失の主な原因となっており、肉体的に過酷な介助作業を伴う医療従事者の間で高い発症率が見られます。</p> <p>カナダにはノーリフト®ポリシーが存在するにも関わらず、導入の遅れ、研修の不十分さ、機器のコストなどが、安全な介護技術の実践を妨げ続けています。</p> <p>しかしながら人間工学に基づく技術、AIによるモニタリング、ウェアラブル支援機器、データ駆動型の安全な移乗システムの導入のように、イノベーションが重要な役割を果たすことが可能です。</p> <p>CABHIは、患者移乗用デバイス、姿勢をモニターするウェアラブル機器、センサー搭載のリフトシステム、バーチャル人間工学研修プラットフォームのようなソリューションを多数支援しています。</p> <p>これらのイノベーションは、ケガの減少、患者と医療従事者の体験向上、コスト削減、持続可能なケア提供の支援につながる上、「クアドラブル・エイム(Quadruple Aim)」に沿った取り組みでもあり、カナダを安全なケア分野のリーダーとして位置づけるものです。</p>
代表者/所属	James Mayor / Centre For Aging + Brain Health Innovation (CABHI)

1-3-③

13:55 ~ 14:15

<p>演題(日本語)</p>	<p>オーストラリアにおけるノーリフト®トレーニング - リスクは最小限に、ケアは最大限に -</p>
<p>発表内容</p>	<p>多くの職場において、作業を安全に完了しケガのリスクを減らすことを目的としたマニュアル・ハンドリング（手を使って行う作業）は不可欠です。マニュアル・ハンドリングの技術は国によって異なるものの、目標は労働者と患者の両方を守ることにあります。</p> <p>医療従事者として、私たちは共通の目標を持っています：それは、入居者一人ひとりのニーズを尊重しながら、安全で質の高いケアを提供することです。</p> <p>しかしながら、重要な側面である労働者の安全は、しばしば見過ごされがちです。労働者の安全と健康を守ることは、長期的な働きがい、満足度、ケアの継続性、そして人材の持続可能性にとって極めて重要です。</p> <p>患者を守るだけでなく労働者の安全を確保し、職場のリスクを減らすための方針を整備することは、私たちの責任です。</p> <p>このプレゼンテーションでは、患者と労働者の両方の視点から、患者の尊厳を守り、ケアを提供する人々のけがを防ぐ方法についてお話します。</p>
<p>代表者/所属</p>	<p>Liam Collins · Scott Foster / HillView Aged Care</p>

1-4-①

14:15 ~ 14:45

演題(日本語)	NLA介テク設計ガイドライン策定委員会からの実施報告
発表内容	<p>1. 背景 介護者の腰痛対策のためのノーリフト<sup>®</sup>機器の導入や活用を進める際に設計上での作業環境などの課題が報告されている。背景としては、介護する側と用具を含んだ作業環境を考えることができる介護施設の設計ガイドラインがないことが示唆されてきた。</p> <p>2. 目的 介護施設がノーリフト<sup>®</sup>機器を導入し、活用するため、ノーリフト<sup>®</sup>の先進国オーストラリアの規格を手本として、日本ならではのノーリフト<sup>®</sup>にとどまらない将来的な視点を含んだ介テク設計ガイドラインを作成する。</p> <p>3. 体制 介テク設計ガイドラインの原案を作成するため、介テク設計ガイドライン策定委員会が2024年3月に発足。毎月委員会を開催し、下記の賛助企業が委員として、素案作成に協力し進めている。 株式会社アマノ、株式会社エレクトロスイスジャパン、株式会社情報システムエンジニアリング、川崎重工業株式会社、シーホネンス株式会社、積水ホームテクノ株式会社、株式会社タモツコーポレーション(五十音順)</p> <p>4. 介テク設計ガイドライン要旨 上述した、介護施設のノーリフトケア<sup>®</sup>が進んでいるオーストラリアの規格をベースにガイドライン(案)を作成。日本独自の内容として、体格や現場の状況を考慮しているほか、オーストラリアの規格になかった介護者の伴走スペースを加えた寸法にしている。また、各委員がこれまで培ってきた経験に基づいた意見を取り入れ、浴槽や天井走行リフトを導入する際の注意点なども含まれている。一部の介護施設で導入されている配送ロボットが通行するのに必要な空間も記載している。ガイドライン冒頭では対象となる介護施設の種類や、介護機器および施設の空間を記載しており、用語は厚生労働省が使用しているものに合わせている。 介テク設計ガイドラインはISOに則って作成しているため、文章が中心となっており、介護施設の運営法人にとって親しみやすさという点で懸念がある。そこでビジュアル要素を取り入れた「介護テクノロジー導入のための空間設計の手引き(仮称)」も同時に作成している。居室、廊下、浴室、脱衣室など介護施設において代表的な空間をイラスト中心で説明している。特に脱衣室の狭さが介護機器導入にあたり問題となることが多く、必要な広さを図示化することで、重要性を認識しやすい内容としている。</p>
代表者/所属	黒田 聡 / 株式会社エレクトロスイスジャパン・株式会社情報システムエンジニアリング

1-4-②

14:45 ~ 15:15

演題(日本語)	協会活動のこれから
発表内容	<p>15周年となる協会の活動を通して、理事が感じる変化、そしてこれらについて皆様と一緒に考えていきたいと思います。15年前初めて日本でノーリフト<sup>®</sup>を紹介した際には、「スライディングシートって何??」「ノーリフト<sup>®</sup>って…」でした。今では、リフトや用具のことだけでなく、ロボットやテクノロジー様々な分野でのノーリフト<sup>®</sup>の考え方が活用されています。ぜひ、皆様と一緒にこれらからのケアの在り方、そして協会の活動について意見交換を実施したいと考えています。</p>
代表者/所属	一般社団法人 日本ノーリフト協会 理事

## 意見交流会

9:15 ~ 10:00

演題(日本語)	日本におけるノーリフトケア®マネジメント
発表内容	<p>ここでは、日本でノーリフトケア®を取り組む際に必要となるノーリフトケア®マネジメントについて、管理者、職員、そして利用者／患者の視点から発言を頂き、それを基に会場と意見交換をおこないます。また、日本の課題や壁、この分科会における意見交換を聞いて世界でテクノロジーの活用やノーリフト®に取り組んでいる人たちがどのように感じるのか アドバイスをいただく予定です。ぜひ、より大きな視点でノーリフトケア®マネジメントを実施するために本分科会にご参加ください。</p>
代表者/所属	参加者交流会

2-1-①

10:15 ~ 10:35

演題(日本語)	ノーリフト <sup>®</sup> 制度運営 3年目の成果と課題
発表内容	<p>本研究は、ソウル緑色病院において2023年から導入されたノーリフト<sup>®</sup>制度の3年間の運営成果を分析したものである。</p> <p>制度初期には職員教育や機器導入に困難があったが、徐々に活用が進み、看護師および介助者の筋骨格系疾患リスクの低減という成果が得られた。特にスライディングローラーの積極的な使用は、患者移送の効率性と安全性を高め、職員満足度の向上にも寄与した。</p> <p>一方で、スライディングボードは麻痺患者の状態、転倒リスク、機器の老朽化などの問題により使用頻度が減少した。これらの経験は、制度定着の過程において教育強化、機器管理、患者安全への配慮が重要であることを示唆する。</p> <p>今後は継続的な教育と機器改善を通じて制度の有効性を強化し、ノーリフト<sup>®</sup>文化の普及を目指すことが課題である。</p>
代表者/所属	李 銀京 / ソウル緑色病院

2-1-②

10:35 ~ 10:55

分科会テーマ	ノーリフトケア <sup>®</sup> 実施報告(Before / After)
演題(日本語)	～未来に向けて進もう～
発表内容	<p>1、導入前の状況 当施設では、ノーリフトケア<sup>®</sup>を導入する以前、ケアにおける、「抱え上げ」や「引きずる」動作が日常的に行われていました。立位保持が難しい方に対しては職員2名で抱え上げ移乗を行い、職員が不足している時間帯には、ケアを待っていただく場面も多くあったことを覚えています。このような無理な介助方法は職員の腰痛や身体的疲労をもたらし、長期的には離職にもつながるリスクを抱えていました。さらに、入浴時にはリフト設備がなかったため湯船に入ることが難しく、シャワー浴が主流となっていました。結果として、入居者・利用者双方にとって身体的・精神的に大きな負担がかかるケアとなり、「職員都合」のケアに偏っていた点が大きな課題でした。</p> <p>2、ノーリフトケア<sup>®</sup>との出会いと取り組み 改善のきっかけは、福祉用具の展示会への参加でした。展示会で、「ノーリフトケア<sup>®</sup>」という考えかたに出会い、ケアされる方の尊厳を守りながら職員の身体的負担も軽減できる方法に強く魅力を感じ導入を決意しました。まずは施設内でコアメンバー6名を選出し研修に参加しました。研修では、ノーリフトケア<sup>®</sup>の理念や具体的な技術・福祉用具の活用方法について学び、施設での実践に向けた基盤を築いていきました。その後、学んだ内容を施設内研修として他の職員に共有し、全体で理解を深めながら取り組みを始めました。併せて、ノーリフトケア<sup>®</sup>のメリットとデメリットも職員間で共有し現場での不安や課題にも丁寧に対応していきました。</p> <p>3、導入後の取り組みと結果 施設では、スライディングボード・スライディングシート・床走行リフト・浴室リフト・スタンディングリフトなどの福祉用具を段階的に導入、現在では職員全員がノーリフトケア<sup>®</sup>に取り組み、「抱え上げない介護」が定着しています。入居者・利用者にとって安全で安心なケアが提供され職員にとっても腰痛などの身体的負担が軽減されるなど、多くの成果が出始めています。今後も入居者・利用者・職員にとって安全・安心な環境作りを進め持続可能で質の高いケアの実現を目指していきます。</p>
代表者/所属	庄司 五月・小林 麗 / 社会福祉法人そよかぜの会 特別養護老人ホームりんごの丘

2-1-③

10:55 ~ 11:15

分科会テーマ	ノーリフトケア®実施報告(Before / After)
演題(日本語)	特養若葉苑に於けるNLC普及啓発活動の10年の歩み
発表内容	<p>「目的」 一施設の腰痛予防対策として取組むと同時に、行政や職能団体へと働きかけ、組織的に実施することで医療・介護現場の質の向上に寄与し、社会的貢献を目指すことを目的とした。</p> <p>「概要」 平成28年2月に保田淳子代表の講演を拝聴し、「ノーリフトケア®」の概念を初めて知ることとなりました。</p> <p>その概念が、一体どのようにマネジメントされているのか詳しく知りたく、当苑の理学療法士を1年間かけて神戸に派遣しライセンスを取得させることとしました。</p> <p>取得後、平成29年4月に大分県から「複数事業所連携研修事業」の補助金を受託し、由布市内の11小規模事業所によるノーリフトケア®習得するための組織を立ち上げ、年間を通じての事業を展開することとなりました。その間、由布市行政に要望書を提出し、福祉現場に対して普及啓発の協力要請を致しました。その働きかけの結果、平成30年から開催される第7期介護保険事業計画にノーリフトケア®の支援を盛り込むことが出来ました。</p> <p>その後、市とのアドバイザー契約を締結し、市内福祉事業所に指導を行うことが可能となりました。また、年に一度の「由布市ノーリフティングケア推進大会」も開催する運びとなりました。令和2年度には、ハード(機器)、ソフト(教育)の両面から1施設50万円の補助事業として17施設に実施され、市内の事業所に「抱えない介護」のノーリフトケア®が定着することが出来ました。</p> <p>大分県に関しては、平成29年10月に県老協の代表として、高知県に視察に同行させて頂きました。そして翌年、ノーリフティングケア普及促進事業を開始し、令和4年度には、新規事業として、介護現場革新事業並びに介護ロボット開発・実証・普及のプラットフォーム事業を展開することとなりました。</p> <p>大分県老人福祉施設協議会の場合は、令和元年からノーリフティングケア推進委員会を発足させ、委員長として、県下6ブロックに普及するための実技研修会を実施しました。また、日本ノーリフト協会の協力の下、大分県下の講師にてベーシックコースを開催し、人材育成をすることが出来ました。</p> <p>今回は、ノーリフトケア®の普及啓発を一施設に止まらず組織的に対応し、スピーディーに行政や職能団体を巻き込みながらの10年間を報告したい。</p>
代表者/所属	原田 禎二 / 社会福祉法人若山会 特別養護老人ホーム若葉苑

2-2-①

12:00 ~ 12:20

分科会テーマ	こんなところでもノーリフトケア®の考え方が重要です(応用編)
演題(日本語)	ICTやノーリフトケア®を運用した介護負担軽減への効果 ～高齢者虐待や身体拘束の未然防止のいま～
発表内容	<p>当施設では労働安全衛生の取り組みとして、高知県ノーリフティング推進モデル施設の認定を受けノーリフトケア®を推進し、労働環境の整備のため並行して介護現場のICT化も進めてきた。ノーリフトケア®の導入から10年目を迎え、ICT化なども同時に組み込んできたことから職場の雰囲気や働き方が著しく変化している。</p> <p>この10年の成果として腰痛発生予防だけではなく、看取り介護を行うにあたって24時間直接ケアを行う介護職員の精神的負担軽減や、高齢者虐待・身体拘束を防ぐための職員のメンタルケアにも効果がみられていると感じている。</p> <p>特別養護老人ホームの役割である「終の棲家」として、看取り介護も積極的に受入れていることもあり、重度化が進むご利用者のケアを行うためには、職員の健康と安全を守ることが大前提であり、ケアを継続していくために必要なノーリフトケア®の考え方や技術、また、職員のライフステージの変化があっても働き続けられる職場環境づくりの推進など多方面からケアの質向上と業務の標準化、生産性向上を目指し取り組んでいるところである。</p>
代表者/所属	西野 梨江 / 社会福祉法人 秦ダイヤライフ福祉会 特別養護老人ホーム あざみの里

2-2-②

12:20 ~ 12:40

分科会テーマ	ノーリフトケア®実施報告(Before / After)
演題(日本語)	心身の安寧を意識した取り組み ～「生かされている」から「生きている」へ～
発表内容	<p>入院患者様の殆どが高齢である当院は、ADL介助の際の身体的負担から職員の8割が腰痛を自覚していた。</p> <p>2018年にノーリフトケア®を導入し、職員の性別や体格に左右されない介助を安全に行なうことで、職員と患者双方に負担の少ない介護を実現した。</p> <p>結果として生産性向上推進体制で謳われる職員の腰痛発症が減り、ケアの質の確保が出来た。入院することにより、いくつもの「諦め」を経験している患者様やご家族の気持ちを察し、私たちに出来ることはないか「私たちが諦めてどうするのか」と、ご家族や患者様の望みを汲み取って実現する介護を次の目標として、多職種の協力を得ながら患者様の活動の幅を広げる支援を行ってきた。</p> <p>ノーリフト協会で習得したリフトによるリラクゼーション活動や離床時の姿勢を見直した結果、「経管栄養から経口栄養に」「排泄状況が改善」「褥瘡治癒」などの成果が職員個々の喜びとなり、働きがいに繋がってきている。</p> <p>職員Kは「症状に対して限局的な視点で見るのではなく、体位や環境、精神面などについて、心身の安寧を意識した取り組みを行なうことの重要性を再認識することが出来た。今後も無理だと決めつけず多職種と協力して患者様個々の可能性を探してゆきたい」と話す。</p>
代表者/所属	堀田 万由美 / 医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム

2-2-③

12:40 ~ 13:00

演題(日本語)	台湾におけるノーリフトケア®の挑戦：ゼロからの組織化と現場改革への道
発表内容	<p>台湾は現在、介護人材の不足、超高齢化、そして若年層の介護・医療分野への就労意欲の低下という課題に直面しています。待遇や支援体制の不備により、現場では離職が増えています。</p> <p>以前からノーリフティングの技術や福祉機器が導入されてきましたが、制度的・組織的な支えが不十分で、定着には至りませんでした。</p> <p>2018年に高知県で下元佳子さんと出会い、技術導入だけでは限界があり、組織的な取り組みが必要だと実感しました。</p> <p>その後、コロナ禍により活動は一時中断されましたが、この期間は私たちにとって冷静に考え直す貴重な時間となりました。そして2023年から、まず一部の職員が理念と実践を学び、徐々に現場に広げていく段階的な組織化を推進しています。</p> <p>本発表では、私たちがゼロから始めたこの取り組みのプロセスを紹介し、台湾におけるノーリフティングの実践と、超高齢社会への一つの対応策を共有いたします。</p>
代表者/所属	蔡 俊明 / 福樂多医療福祉事業

## 2-3-①

13:15 ~ 13:35

分科会テーマ	ノーリフトケア®実施報告(Before/After)
演題(日本語)	ノーリフトケア® 導入5年目の課題
発表内容	<p>【はじめに】 自施設(介護老人保健施設)において、介護業務が起因となる腰痛発生により就労継続が困難になるケースが複数生じていた。そんな最中にノーリフトケア®の考え方と出会い、2021年から自施設でノーリフトケア®プロジェクトを立ち上げ、今年度で導入5年目に突入した。自施設でのノーリフトケア®定着に向けて思考錯誤しながら実践し、現在に至るまでの実施報告を行うとともに、5年目で生じている課題解決に向けた動きも報告する。</p> <p>【方法】 具体的な取り組みとして、まずは自施設内でノーリフトケア®推進委員会を設立し、安全衛生チーム・教育技術チーム・アセスメントチーム・環境整備チーム・データ分析チームに区分して役割分業をできる体制を整え、施設独自のノーリフトケア®理念を掲げて方向性を明確にした。具体的な取り組み内容として、全介護スタッフに対してノーリフトケア®の考え方や技術習得を目的とした勉強会を開催、外部勉強会への参加機会を提供、自施設オリジナルの教育動画や勉強資料の作成、各介護スタッフのノーリフトケア®技術進捗状況が分かる確認カードの導入等の取り組みを実施した。環境整備も並行して進め、ノーリフトケア®対象者をアセスメントした上で必要な福祉用具を購入した。ノーリフトケア®を実際の作業に取り入れるために、利用者別にアセスメントしたケア内容を介護スタッフに伝達し実施する手順を整え、3ヶ月に一度の頻度でノーリフト®カンファレンスを開催し経過観察できる状態を整えた。</p> <p>【結果】 今年度(5年目)にノーリフトケア®に関するアンケートを実施、腰痛発生者が初年度32名から11名に減少、腰痛者減少の大きな成果を得た。ノーリフトケア®を行うために必要な環境が整い、スタッフ個々のノーリフトケア®に対する考え方の理解が深まり、技術習得度が向上した。一方で実践度(現場でノーリフトケア®を行えているかどうか)が低い結果となった。集団レベルでノーリフトケア®を行うのが当たり前という風潮を作りきれていないのではないかと、という仮説課題が浮かび上がった。</p> <p>【まとめ】 仮説課題解決に向けて、個々に向けてのアプローチだけでなく、組織に対してアプローチする視点が重要ではないかと考える。和(調和や協調)を重んじる日本人は、人と異なる行動をする事を好まない器質もあるため、ノーリフトケア®を行いやすい組織作りも欠かしてはいけないと考える。</p>
代表者/所属	甲斐 慈之 / 医療法人社団創生会 カネディアンヒル介護老人保健施設

## 2-3-②

13:35 ~ 13:55

分科会テーマ	ノーリフトケア®実施報告(Before / After)
演題(日本語)	トイレでの天井走行リフトの自立支援効果
発表内容	<p>六甲の館は、令和6年度「介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰」を受賞している。国が介護施設に求める生産性向上やノーリフトケア®を自施設で実践してきたことが受賞につながったといえる。介護における生産性向上とは、ケアの質の向上、業務の効率化、そして職員の満足度や負担軽減を同時に実現することで、特別養護老人ホームでは天井走行リフトが最も有効なテクノロジーである。</p> <p>当施設では、全居室・浴室・静養室に天井走行リフトを導入し、人力で抱える介護をほぼゼロにしている。その結果、職員の腰痛発生率の低下、移乗時の事故報告件数の減少、褥瘡発生率の低下、さらに要介護度の改善といった多面的な効果があり、介護の生産性向上に寄与している。</p> <p>現在、「トイレで排泄することこそが心身のウェルビーイングの第一歩である」との考えのもと、各フロアのトイレに1か所ずつ天井走行リフトを設置し、利用者の自立した排泄を支援する自立支援介護に取り組んでいる。本研究では、トイレでの天井走行リフトにおける効果について検証する。</p>
代表者/所属	今北 繁治 / 社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム 六甲の館

2-3-③

13:55 ~ 14:15

演題(日本語)	横展開で現場変革！～成功体験とその波及効果～
発表内容	<p>■はじめに 2019年に千葉県施設のノーリフトケア®を導入した。職員の負担軽減と内出血事故件数の減少、ご入居者のADL向上がみられた。2022年からは有料老人ホームを運営する高齢者公益事業部の全10施設12事業所での普及を目指した。2016年から5年間の労働災害結果から動作の反動と無理な動作を原因とする休職職員が37%であることがわかり、介助方法の標準化を開始した。</p> <p>■目的 職場の労働安全水準を向上させ、職員を守る体制構築を目的にノーリフトケア®を導入した。ケアメソッドを全事業所に普及させた取り組み経過と成果を報告する。</p> <p>■方法 取り組みは3つの柱に沿って実施した。 ①外部講師と専門業者によるサポート支援体制の構築 ②ノーリフトケア®に関するプロフェッショナルを目指した人材育成 ③施設の課題に即した環境整備</p> <p>■結果 2022年度・集合研修の開催 2023年度・日本ノーリフト協会主催セミナー「ベーシック」の参加 ・モデル施設で症例検討を主とした体験学習の実施、リフトの試験導入 ・管理者向け研修(現場責任者・経営層)開催 ・人材作成プログラム作成 2024年度・症例検討による体験学習と業者の現場支援開始 ・モデル施設を3施設4事業所へ拡張 ・備品導入目安数の提示、備品支給 2025年度・モデル施設を5施設6事業所へ拡張 ・腰痛リスク調査に基づく環境整備実践</p> <p>推進者が対象の集合研修参加者は延べ105名、外部セミナー受講者は29名。モデル施設での症例検討では10事例中8事例で3カ月後に対象入居者の姿勢および生活状況の変化を確認した。腰痛リスク調査のアンケート回答者は700名、そのうちの130名に不良姿勢計測の追加調査を実施。備品の整備計画立案とリフトの試験導入により2025年4月時点でリフトは48台が整備された。目標設置台数が全入居者数の25～35%に対して平均6.8%の整備率となった。</p> <p>■考察 全事業所へ普及・定着できた要因は、体験学習の実施と業者の支援活用による成功体験の積み重ね、取り組みの標準化であった。今後は介護現場以外の他部門を含む施設全体での普及と定着に取り組み、さらなる職場の労働水準の向上を目指す。また生産性向上に繋がる実績づくりをしていく。ケアメソッドの浸透で現場のケアを変革し、入居者の重度化予防とQOL向上のために取り組みを継続する。</p>
代表者/所属	岩品 佳代子 / 社会福祉法人 聖隷福祉事業団

掲示期間	1日目	13:30 ~ 17:00	2日目	9:00 ~ 15:30
発表時間	1日目	16:20 ~ 16:25	2日目	11:25 ~ 11:30

テーマ	導入報告
演題(日本語)	導入報告) 地域リハビリテーション広域支援センターによるノーリフトケア®普及活動の報告
発表内容	<p>■はじめに 安房(あわ)地域リハビリテーション広域支援センター(当センター)は、千葉県9つの二次医療圏ごとに1か所ずつ設置されたセンターの1つである。2003年より安房地域における地域リハビリテーションを推進するために活動をしている。当センターでは、活動の一環として、2023年度よりノーリフトケア®の普及活動を開始した。今回は、現在までの経過を報告させていただく。</p> <p>■目的 普及活動の取り組み開始の経過について示し、他の地域での普及活動の一助となることを意図して報告する。</p> <p>■概要 ●安房地域リハビリテーション広域支援センターについて 当センターでは、「障害があってもなくても幸せに過ごせる地域を目指す」を活動の目的として、「地域づくり」、「リハビリテーション資源の活用」、「リハビリテーション連携の強化」の3つの視点で様々な活動をしている。活動の一環として2023年度より、ノーリフトケア®に関する活動を開始した。</p> <p>●活動経過 活動の経過を、以下に示す。活動準備期)2021年9月に千葉県医師会主催のノーリフトケア®研修を受講。2023年ノーリフト®コーディネーターを1名が取得。啓発期)2023年12月に急性期病院のリハビリ職向けの体験・研修会を開催。2024年3月に、急性期病院医療スタッフ・地域の医療介護関係者向けに保田代表を招いての研修会を開催。2024年6月に地域の医療介護等の関係者が参加する勉強会にて研修会を開催。普及期)2024年11月に地域の介護事業所から依頼を受けて計3回の研修会を開催。</p> <p>●地域リハビリテーション広域支援センターによるノーリフトケア®普及活動のメリット 地域リハビリテーション広域支援センターは相談窓口としての役割を果たすことができ、地域のニーズに対応しやすい。また、地域向けの研修機関として認知されており、開催の周知がしやすい。</p> <p>■終わりに 当センターにおけるノーリフトケア®の普及活動について、開始から2年間の安房地域での活動について経過を報告した。今後も、知る・体験する機会を意図した啓発・普及活動を行いながら、当センター内でもノーリフトケア®の理解を深めていく。そして、育成支援・導入支援が実施できるような体制を模索していく。</p>
写真の撮影	可
代表者/所属	佐伯 考一(P01)/ 安房地域リハビリテーション広域支援センター・医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

**掲示期間**..... 1日目 **13:30 ~ 17:00**      2日目 **9:00 ~ 15:30**  
**発表時間**..... 1日目 **16:25 ~ 16:30**      2日目 **11:30 ~ 11:35**

テーマ	事例報告
演題(日本語)	ノーリフトケア®定着への取り組み ~多職種協働がもたらす効果~
発表内容	<p>当院は2018年に職員の肉体的負担を軽減する目的でノーリフトケア®の導入を行った。導入に際しノーリフト®協会が開催するノーリフトケア®コーディネーター養成講座に参加し、基礎から応用までのプロセスを学んだ。また院内では院長を軸に事務長や看護部長、リハビリテーション部も交えた『肉体負担軽減会議』を毎月開催し、福祉用具の選定や体験の機会をもち現場に寄り添った支援を行っている。国際シンポジウム2020(2020年1月17、18日開催)では導入後の課題抽出までを発表させていただいた。</p> <p>それから5年、大規模施設での取り組みは一筋縄ではいかず多職種の協力無しでは現在のような定着はなかったと感じている。コーディネーター養成講座でも多職種でのディスカッションを大切にしておられるが、当院もトップが現場の声を聞く時間を設け、それぞれの部署を繋げる会議を続けることで、職員の肉体的負担の面だけでなく患者様やご家族への支援の質の向上や患者様の成功事例報告から職員の働きがいに繋がってきている。</p> <p>職員の肉体軽減から職員の働きがいへ質的变化向上へと進展したことをここに報告する。</p>
写真の撮影	可
代表者/所属	堀田 万由美(P02)/医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム

掲示期間…………… 1日目 **13:30 ~ 17:00**      2日目 **9:00 ~ 15:30**  
 発表時間…………… 1日目 **16:15 ~ 16:20**      2日目 **11:20 ~ 11:25**

テーマ	調査報告
演題(日本語)	看護小規模多機能型居宅介護の腰痛予防対策への取り組み
発表内容	<p>【はじめに】                      医療・福祉従事者の腰痛保持率は高く、離職にもつながる重大な課題である。当事業所は、2011年訪問看護ステーションの設立と同時にノーリフトケア®を導入し、在宅ケアの質の向上を目指してきた。2015年には看護小規模多機能型居宅介護(以下、看多機)を開設し、在宅・施設を問わず、ノーリフト®の理念を実践に生かしている。スタッフの意識も次第に高まり、やがて職場文化として定着し、定期的な腰痛調査の実施など、継続的な取り組みへと発展した。全体として腰痛保持者の割合は減少傾向にある一方で、個別性への対応にはなお課題が残されていた。この課題に対し、2023年度より個別の腰痛調査を導入し、スタッフ一人ひとりが心身ともに健やかに働ける体制づくりを進めている。                      本稿では、その具体的な取り組みと成果について報告する。</p> <p>【活動】                      2023年度以降の腰痛調査での取り組みとしては全職員を対象として、腰痛の評価に慢性腰痛症機能評価尺度(以下：JLEQ)を使用し6月・9月・12月と3か月ごとに評価を実施した。また、JLEQとは別に独自で作成した腰痛に関する質問票に回答してもらい、より多角的な情報収集を図った。その結果をもとに理学療法士による個別介入や全職員向けに腰痛の勉強会を実施し腰痛の基礎知識とケア方法の共有を行った。毎年度6月と9月、9月と12月、6月と12月の評価結果をウィルコクソンの符号順位和検定にて有意差の有無を確認しているが、いずれも有意差が認められていない。しかし、質問票のアンケートでは腰痛保持者の減少が認められている。また、腰痛以外の痛みに関する質問票から、その他の痛みを挙げるスタッフもあり、腰痛調査開始以降、個別での身体不調やケア方法についての相談も増加している。</p> <p>【考察】                      今回の取り組みにより、理学療法士による姿勢評価やセルフケア方法の提案といった個別介入、および自身の身体と向き合う勉強会の実施が、腰痛の頻度を減少させる一因となったと考えられる。今後は、スタッフが腰痛予防のセルフケアをより定着できるよう、有効な体操メニューの開発や個別支援の継続が求められると考える。また、腰痛にとどまらず、心身の不調について気軽に相談できる“ヘルシーワーキングプレイス”としての環境づくりにも力を注いでいきたい。</p>
写真の撮影	可
代表者/所属	箕輪 翔馬(P03)/まちのナースステーション八千代
共同作成者/所属	諸橋 未来・福田 裕子/まちのナースステーション八千代

## 7 謝辞・広告

多くの企業、そして個人の方々に支えられてシンポジウム開催に至りました。心より感謝申し上げます。

### 【開催協力企業】

#### 特別協賛

- 川崎重工業株式会社 <https://www.khi.co.jp/>

#### ゴールドスポンサー

- シーホネンス株式会社 <https://seahonence.co.jp/>
- 株式会社金星 <https://www.kinboshi-inc.co.jp/>
- 神戸市 企画調整局 医療産業都市部

#### シルバースポンサー

- 株式会社情報システムエンジニアリング <https://ise.co.jp/>
- 株式会社エレクトロスイスジャパン <https://www.electrosuisse.co.jp/>
- 株式会社いうら <http://www.iura.co.jp/>
- ノーリツプレジジョン株式会社 <https://neoscare.noritsu-precision.com/>
- マッスル株式会社 <https://musclecorp.com/care/>
- アルケア株式会社 <http://www.alcare.co.jp/index.shtml>
- 株式会社シリウス <https://www.sirius-agent.co.jp/>
- 株式会社CoreHealth <https://corehealth.co.jp/>
- 株式会社ジエイテクト <https://active-life.jp/jpasfleairy/>
- 株式会社ケアコネクトジャパン <https://www.carekarte.jp/>
- 公益財団法人 神戸国際医療交流財団 <http://kobeima.org/>
- ピジョンタヒラ株式会社 <http://www.pigeontahira.co.jp/>

#### ブロンズスポンサー

- 株式会社バイオシルバー <https://www.biosilver.co.jp/>

移乗用リフト「Likoシリーズ」

「抱え上げない介護」で

# 自立支援 & 腰痛対策

「Likoリフト」の豊富なスリング・ハンガーで  
ご利用者に最適なケアを提供

約  
200  
種類

## スリングシート



脚分離型スリング 歩行訓練用スリング トイレ用スリング

約  
10  
種類

## スリングバー



スリングバーはワンタッチで付け替え可能!



## 天井走行リフト

居室・浴室・リハビリ室など  
様々な場面でご利用できます。

◀リコロール 242



## 据え置き式リフト

工事不要の組み立てタイプで  
簡単設置。在宅での移乗に。

◀フリースパントランパース



## 床走行リフト

車椅子のアプローチがしやすく、  
移乗がスムーズ。

◀バイキング M



▲床走行リフトを使った歩行訓練

リフトについての詳細はこちら

🔍 [www.seahonence.co.jp/hp/lift/](http://www.seahonence.co.jp/hp/lift/)





# お肌にとっても やさしい入浴

## ーピュアットー



### 3つのメリット

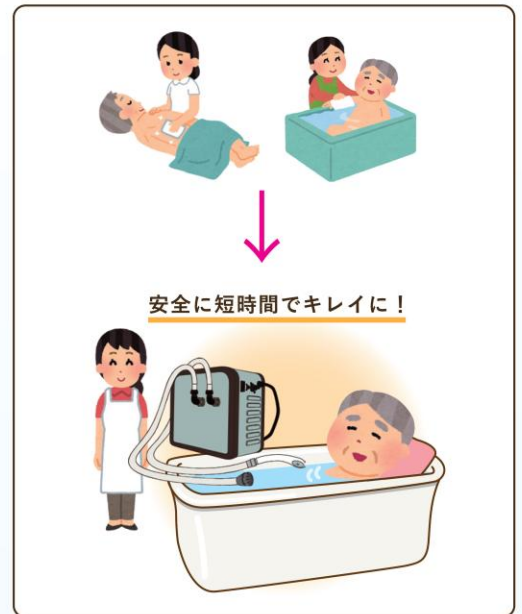
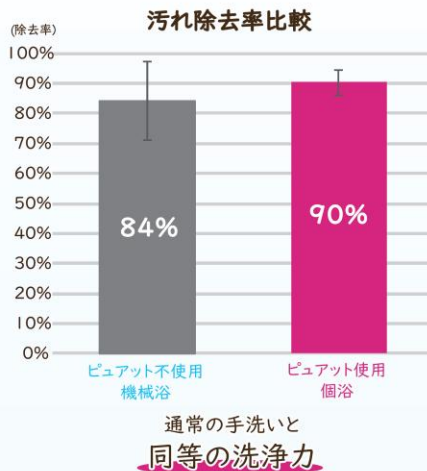
短い時間で全身をキレイに

ゴシゴシと洗わないので皮膚を傷めない

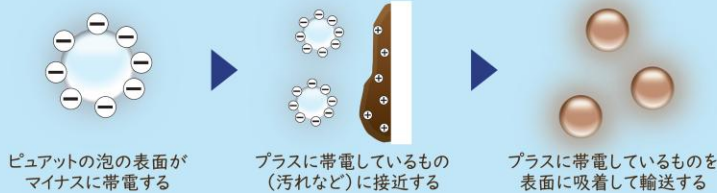
石鹸より肌にやさしい

## たった5分の入浴で全身キレイ!

小さい泡が全身くまなく洗  
浄し、洗い残しを防ぎます。  
湯船に浸かるだけなので、  
負担になる動きや体勢を取  
る必要がありません。



### ピュアットの泡の表面電位特性



### こんな方にも安心

乾燥肌  
や  
敏感肌

じょくそう  
褥瘡症状

アレルギー  
体質

Brilliant Together  
**KINBOSHI**  
株式会社 金星  
www.kinboshi-inc.co.jp

- 札幌 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西3-2-14 井門札幌ビル6F TEL (011)232-2333:FAX (011)232-2332
- 東京 〒102-0081 東京都千代田区四番町4-8 野村ビル3F TEL (03)3511-8441:FAX (03)3511-8440
- 大阪 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1-10-26 サクラ森ノ宮ビル1F TEL (06)6975-2600:FAX (06)6975-2001
- 岡山 〒711-0907 岡山県倉敷市児島上の町2-1-68 TEL (086)470-0511:FAX (086)470-0364
- 福岡 〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町2-26 1F TEL (092)260-3508:FAX (092)260-3518

器具の正しい装着を支援し、介護者の労働安全を支えます

# Right4Care 器具装着アドバイザー

介護現場の労働安全を守るためのサポート器具や装着型アシスト機器。  
しかし、装着位置がずれてしまったり、装着漏れという課題も見受けられます。  
この課題を仕組みによって解消し、安全で快適な作業環境を支援します。



サポート器具の装着イメージ※

## Right4Care の特長

- ① 器具の「正しい」装着をサポート  
→サポート器具や装着型アシスト機器の提供価値を安定的、持続的に受けられる
- ② 器具装着の習慣化、モチベーションを維持  
→日々の装着状況を後日見直せるように記録を残し、労働安全リスクの低減に寄与する
- ③ さまざまな器具との連携  
→既存のサポート器具や装着型アシスト機器と組み合わせて使用することができ、導入も簡単



株式会社情報システムエンジニアリング  
東京本社 東京都新宿区高田馬場3丁目35-2  
大阪支社 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3 御堂筋三井ビルディング4階 ライフサイエンスハブウエスト内  
Right4Care/ライトフォーケア/R4Cは 株式会社情報システムエンジニアリングの登録商標です。関連特許：特許第6542445  
※ 画像イメージはAIで生成しています。

250822-01

ライトフォー  
ソリューション  
サービスの詳細は  
こちら→

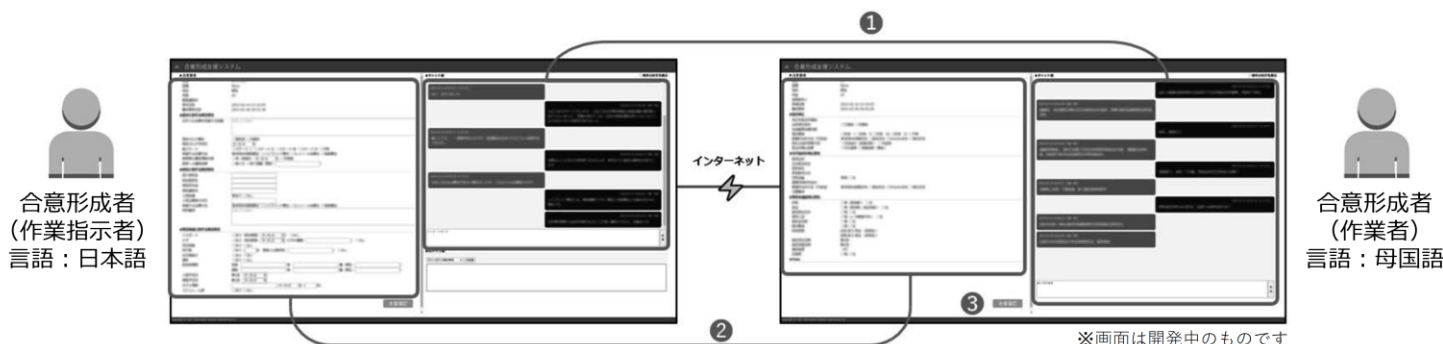


多言語間の合意形成を支援して、働きやすい作業環境へ

ライトフォーユー  
Right4U®  
R4U

## 合意形成支援システム

介護業界でも日本語が母国語ではない人たちと一緒に仕事をする機会が増えています。  
本システムは、認識のすれ違いを予防し、多言語間合意形成を支援します。



- ① リアルタイムの多言語コミュニケーション（翻訳連携チャット）
- ② 作業の取り決めや合意事項を自分達にあわせて追加、編集できます
- ③ チャット履歴と取り決め事項をPDFに出力できます

・採用実績：本システムを基盤として、海外にいる患者と日本での受け入れ側との合意形成を支援する目的に応用した「国際患者対応向け合意形成支援システム」が令和3年度兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム）の研究プロジェクトのひとつに採用されました。

エレクトロスイスジャパン

株式会社エレクトロスイスジャパン  
兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-2 神戸キメックセンタービル9階  
Right4U/R4U/ライトフォーユーは、株式会社情報システムエンジニアリングの登録商標です。関連特許：特許第6542445

EJ250822-01



福祉機器・介護機器の総合メーカー



「やさしさ」  
かなえる  
新発想



移動式リフトEL-610



排泄サポートリフトTL-300

株式会社いうら

〒791-0214愛媛県東温市南野田410番地6  
TEL : 089-964-7770 FAX : 089-964-1522  
E-mail : info@iura.co.jp

詳細はホームページへ  
<https://www.iura.co.jp>



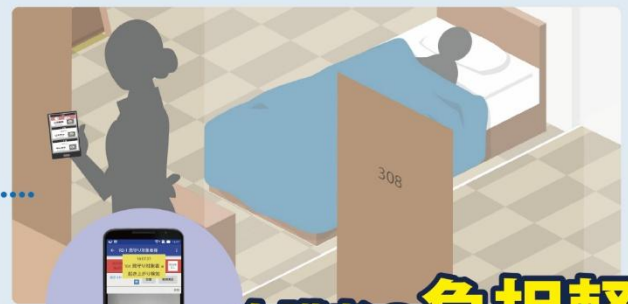
次世代予測型見守りシステム

Neos+Care  
ネオスケア



入居者の転倒事故予防

最新の距離センサーによる  
業界トップレベルの“速さ”と“正確さ”の  
予兆検知で転倒・転落事故を大幅に減少!



介護者の負担軽減

居室の状況をスマホで  
いつでも確認でき、巡回業務を効率化!

利用者のQOL向上

不要な訪室の削減により、利用者の安眠を妨げません!  
要介護者の動作傾向が把握でき、個別ケアが可能に!

# 広告

介護をうける方もおこなう方も

## やさしさと安心を

居室や脱衣室でのベッド⇄車いす⇄ストレッチャー等への移乗をアシストします。  
ADLの低下や体重過多で二人介助が必要な方、立位のとれない方、  
拘縮や円背の方、人の手による移乗介助に不快感のある方、  
皮膚トラブルや脱臼・骨折のリスクがある方の移乗に適しています。

～誰でも・一人で・らくに・簡単に  
「人を人らしく介助」できる介護ロボット～

- ・120kgの方まで一人で移乗が可能
  - ・介護をおこなう方の身体的負担（腰痛やけが…等）の軽減、予防
  - ・転倒、転落リスクの軽減
  - ・介護をおこなう方の精神的負担の軽減
  - ・操作レバーによる直感的操作と簡単なステップ（3ステップ：抱き上げる、傾ける、降ろす）
  - ・介護の効率化（二人介助から一人介助…等）
  - ・年齢や言語による差がない均一で安全なケアの提供
  - ・効率化と質の高いケアを可能にすることで介護サービスの生産性を向上
- 
- ・介護される方の負担軽減（拘縮の予防、痛み・緊張感・恐怖感・遠慮軽減）
  - ・シート全面で身体を支えるため体圧が分散、揺れの少ない安定した移乗
  - ・まるで人の腕で抱き上げるかのようにやさしく抱き上げ、臥位から座位まで自由な角度と高さに調整が可能。仰臥位だけでなくベッド上の臥位姿勢…等、個々の介護される方の適した姿勢のまま移乗する事が可能
  - ・専用シートは薄く強く柔らかいメッシュ生地で通気性がよく、シートの着脱が不要
  - ・皮膚トラブル、骨折、脱臼…等の予防

# ROBOHELPER SASUKE



\*リモートデモ・試用貸出受付中\*



マッスル株式会社  
TEL 06-6229-9550



〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋6階

www.alcare.co.jp

for Best Care **ALCARE**

## スライディングシート SGE シート

## スライディングボード SAFE ボード

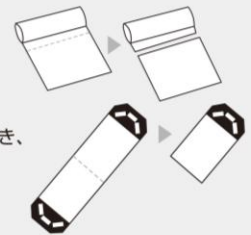
## スライディングボードカバー SGE カバーL



持ち上げない、抱えあげない、引きずらない。  
スムーズな移動・移乗をサポートします。

### 特長 1 すぐにどこでも使える

SGE シート、SGE カバー Lは、ミシン目入りで、  
手で簡単にカット可能です。  
SAFE ボードはコンパクトに折りたたむことができ、  
持ち運びや収納が可能です。



### 特長 2 衛生的

0.1%次亜塩素酸ナトリウム、70%アルコールで清拭消毒が可能です。衛生管理に配慮し、患者さんごとに使い分けが可能です\*。また、環境に優しいリサイクル可能な素材を使用しており、焼却しても有害ガスは発生しません\*。

\* SGE シート、SGE カバー L

### 特長 3 滑り性

SGE シートは、上下左右 全方位にスムーズな移動が可能です。SAFE ボードとSGE カバーLの組み合わせで、スムーズな移乗が可能です。

輸入元：  
**LAC** ラックヘルスケア株式会社  
〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-10-2

## アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19F 〒130-0013  
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863**

土・日・祝日を除く  
午前 9:00～午後 5:00

**mastercare**  
HUMAN HANDLING SYSTEM

# みんなで考えよう介護のこと

TAISコード 02201 000001

介護テクノロジー 入浴支援



GOOD DESIGN AWARD 2024  
グッドデザイン金賞



**BEST of CES 2025** 第37回中小企業優秀新技術・新製品賞  
主催 りそな中小企業振興財団 日刊工業新聞社

水漏れしない簡単洗身

38~45°Cの温水設定可

使い方動画公開中



世界初認定  
※1  
World's First Product

2024-25  
各賞受賞



イメージキャラクター  
清水 國明

## 世界初!! ※1 オールインワン介護用洗身用具

※1: 2023年10月30日現在、ステラソシエ株式会社調べ。お湯とソープが出せる商品において、国内外の介護用入浴機器、およびポータブルシャワーを対象に調査。

オールインワン介護用洗身用具

# switle BODY

メーカー希望小売価格 **184,800円** (税込 / 税抜価格 168,000円)

介護者ひとりだけで要介護者を普通のベッドに寝かせたまま、ベッドを濡らさず、汚さず、安全に、手軽で、簡単に、気持ちよく。専用の弱酸性ソープでさっぱり清潔に、まるでシャワーを浴びたように体を洗うことができます。



〒110-0015  
東京都台東区東上野1-14-9中島ビル201  
<https://www.sirius-agent.co.jp/>



## 「マッスルスーツ※CARE」導入施設様のメリット

※東京理科大学発スタートアップ(株)イノフィスの登録商標です

- 【ご利用者様の転倒リスク軽減】
- 【ご利用者様が歩きやすくなる】
- 【介護・見守り時間の減少】
- 【スタッフの肉体的・時間的ゆとりが生まれる】
- 【ご利用者様と向き合う時間が増える】

少子超高齢社会において健康寿命を延ばすことは極めて重要な課題です。株式会社 CoreHealth は、体と心の「美しい姿勢」を広め、健康で自立できる持続可能社会の実現を目指しています。

## 超クイック姿勢矯正

「マッスルスーツ※CARE」(コンプレッサ使用)による5回の屈曲伸展で美しい姿勢に



## 「姿勢矯正」のメカニズムと効果

注：効果には個人差があります

- a. 胸郭を開く

b. 腰椎伸展

c. 股関節伸展

d. 膝関節伸展

典型的な効果

  - ① 骨盤・脊椎のアライメントの矯正 (猫背、反り腰、巻き肩が改善)
  - ② 股関節可動域の拡大
  - ③ 胸郭が開き、呼吸がしやすくなる
  - ④ 重心・歩容が安定する (転倒防止)
  - ⑤ インナーマッスルの強化
  - ⑥ 腰痛改善
  - ⑦ ヒップアップ、バストアップ、ウエスト引締め

## 「マッスルスーツ※CARE」料金体系

注：コンプレッサは別売りです

基本プラン 700,000円(税別)    簡易モニタプラン 800,000円(税別)    大型モニタプラン 1,000,000円(税別)



東京理科大学 発 スタートアップ  
株式会社 CoreHealth

J-PAS  
fleairy

日常を軽やかに、いつもあなたのそばに J-PAS fleairy

# 人力ではない、あなたの介護を大切にアシスト

J-PAS fleairyは、介護従事者の皆様の声から開発されたアシストスーツです

▼製品詳細・お問い合わせ先▼

**JTEKT** 株式会社ジェイテクト

BR アクティブ・ライフ推進部

ジェイパス フレアリー



<https://active-life.jp/jpasfleairy>



# 最強 最速の介護記録入力



Point  
**1**

## 「話す」だけで自動記録

ハナストは、介護記録、連絡、申し送りなど、介護スタッフの間接業務をAI×音声入力でサポートする現場の声から生まれた AI アプリです。

Point  
**2**

## 介護にかかわる人達の「やりとり」をサポートする 介護特化型チャットアプリ

ケアコネ

- ・テキスト、音声チャット、ビデオ会議による相談連絡
- ・ケアカルテから出力したサービス提供状況の報告
- ・ケアプラン、利用票、提供票の作成や送信
- ・モニタリング候補日・担当者会議の日程調整
- ・事業所内での情報共有
- ・利用請求書の送付

2024.10リリース

使用料無料

特許出願中



資料をダウンロード



お問い合わせ



**CARE CONNECT JAPAN**  
株式会社ケアコネクトジャパン

〒422-8067

静岡県静岡市駿河区南町18番1号 サウスポット静岡2F

TEL: 054-202-0300 FAX: 054-202-0277

ケアカルテ



<https://www.carekarte.jp/>

# Neo X

## スマートクッション



### STABILITY | 安定した座り心地を実現

PUサポートフォームが坐骨・尾骨をしっかり支え、座位時の安定性を最大限に向上。

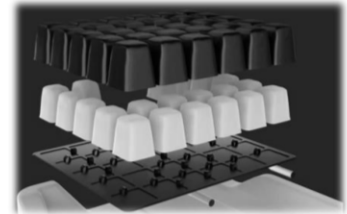
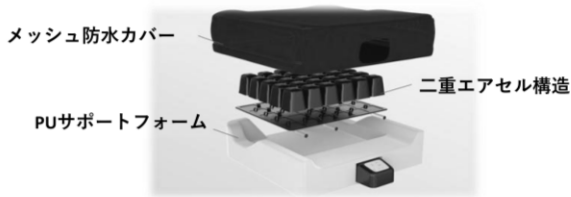
左右の揺れを防ぎ、安心感のある座り心地を提供します。

### CIRCULATION | 血流を促進し、快適な座位をサポート

空気の自動循環機能により血流を改善。長時間座っていても快適さを保ち、圧力による不快感を軽減します。

### OFF-LOADING | 圧力を分散して、負担を軽減

30個の格子状エアセルが自動で膨張・収縮し、圧力を3つのセクションに分散。さらに、圧力分散と姿勢調整を促すアラート機能も搭載しています。



30個の格子状エアセルが自動的に膨張し圧力を3つのセクション毎に分散します。左右領域に20%以上の圧力差が5分以上続くと姿勢調整を知らせる赤色LEDが点灯します。

当財団は、国際医療交流支援事業として、韓国江原特別自治道と覚書を締結し、日韓医療機器ビジネスマッチング支援事業を行っております。最初の事業として韓国のベンチャー企業【neoable社】が開発した、スマートクッション【NeoX】の日本導入のための支援を行っております。



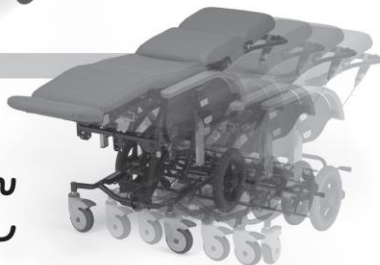
公益財団法人 神戸国際医療交流財団

# プロフィットケア 電動昇降フルリクライニングキャリー FC-320



1 電動昇降で  
らくらくかるがる  
移乗介助

2 横付け機能で  
らくらくかんたん  
車いす取りまわし



3 高さメモリ機能で  
らくらくかんたん高さ合わせ



ピジョン タヒラ株式会社  
大阪営業所 TEL(06)6354-5771



FC-320  
商品紹介動画

※「介護テクノロジーの試用貸出リスト」に掲載されています。

生産性向上も

人員不足のお悩みも

# aamsで解決!

[介護ロボット導入支援事業対象機器]

aamsの機能

- ☑ リラックス度指標が追加
- ☑ 従来型より軽量化
- ☑ 離床判定・起き上がりの精度がUP
- ☑ 既存のナースコール設備との無線接続が可能に
- ☑ 体温計・血圧計との接続が可能に
- ☑ 睡眠評価機能がリニューアル(特許出願中)

※予告なく仕様変更となる可能性があります

「aamsなしでは働けない」  
と喜びの声をいただいています!



**bio silver** 株式会社バイオシルバー 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-4 シルバービル1F TEL:045-548-5478 FAX:045-548-5289

一般社団法人日本ノーリフト協会主催  
ノーリフトケア® コーディネーター 養成講座 次回開催予定一覧

概要	主催	会場	日程
<b>追加開催</b> 【2025年11月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：11月10日(月)～11月16日(日) セッション2：11月17日(月) 13:00～17:00 セッション3：12月10日(水) 14:00～16:00
【2025年12月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：12月8日(月)～12月16日(火) セッション2：12月17日(水) 13:00～17:00 セッション3：1月14日(水) 14:00～16:00
<b>追加開催</b> 【2026年2月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：1月12日(月)～1月20日(火) セッション2：1月21日(水) 13:00～17:00 セッション3：2月4日(水) 14:00～16:00
【2026年6月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：6月8日(月)～6月16日(火) セッション2：6月17日(水) 13:00～17:00 セッション3：7月8日(水) 14:00～16:00
【2026年8月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：8月10日(月)～8月18日(火) セッション2：8月19日(水) 13:00～17:00 セッション3：9月2日(水) 14:00～16:00
【2026年10月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：10月19日(月)～10月27日(火) セッション2：10月28日(水) 13:00～17:00 セッション3：11月11日(水) 14:00～16:00
【2026年12月～】 ベーシック養成講座	NLA	オンライン	セッション1：12月7日(月)～12月15日(火) セッション2：12月16日(水) 13:00～17:00 セッション3：1月13日(水) 14:00～16:00
【2026年9月～】 アドバンス養成講座	NLA	オンライン 会場	セッション4：9月16日(水) 10:00～17:00 セッション5：10月16日(金) 10:00～17:00 セッション6：11月13日(金) 10:00～17:00 セッション7：1月13日(金) 10:00～17:00



一般社団法人

**日本ノーリフト協会**

「ノーリフト®」「ノーリフトケア®」協会ロゴは日本ノーリフト協会の登録商標です。